

## 第2章 新市の概要

### 1. 位置と地勢

#### (1) 位置

新市は山梨県の中央南部に位置し、東は鎌田川を挟んで甲府市、中道町に、北はJR身延線、昭和バイパスを境に昭和町に、西は釜無川を挟んで南アルプス市に、南は三珠町及び市川大門町に接しています。

釜無川により形成された沖積平野の地域と御坂山系からなる地域との二つの地理的特性を持っており、両地域は笛吹川によって隔てられています。

平坦部は玉穂町、田富町の2町が笛吹川と釜無川に挟まれた形で位置しており、豊富村は山間部に広がる地域となっています。

#### (2) 面積

玉穂町が8.22km<sup>2</sup>、田富町が10.09km<sup>2</sup>、豊富村が13.50km<sup>2</sup>、合計31.81km<sup>2</sup>となります。

土地の利用状況は、平成15年で見ますと宅地が19.4%、農地が36.5%、山林が16.4%、その他27.7%と、農地の占める割合が高くなっています。

### 2. 人口と世帯

本地域（3町村）の平成12年度の国勢調査の人口は30,769人で、10年前の平成2年の国勢調査と比べますと18.9%の増となっています。

年齢別人口の構成比を見ますと、平成12年の国勢調査では年少人口（0歳～14歳）が18.0%、生産年齢人口（15歳～64歳）が69.1%、老年人口（65歳以上）が12.9%となっており、山梨県全体の年齢別構成比と比較すると15歳～64歳の人口の占める割合が高く、比較的若い年齢の多い地域といえます。

また、世帯数は、平成12年度の国勢調査では10,985世帯となっており、1世帯当たりの人員は、2.8人で、核家族化の進行が顕著にみられます。

人口と世帯数の推移

(単位：人、世帯、%)

区 分	昭 和 55 年	昭 和 60 年	平 成 2 年	平 成 7 年	平 成 12 年
総人口	16,812	21,984	25,868	28,543	30,769
増加率		30.8	17.7	10.3	7.8
世帯数	4,402	6,475	8,111	9,644	10,985
一世帯当たりの人員	3.8	3.4	3.2	3.0	2.8

資料：国勢調査

年齢3区分別人口の推移

(単位：人)

区 分	昭 和 55 年	昭 和 60 年	平 成 2 年	平 成 7 年	平 成 12 年
総人口	16,812	21,984	25,868	28,543	30,769
(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
年少人口0～14歳	4,266	5,462	5,844	5,654	5,531
(%)	25.4	24.8	22.6	19.8	18.0
生産年齢人口15～64歳	10,824	14,388	17,443	19,714	21,274
(%)	64.4	65.5	67.4	69.1	69.1
老年人口65歳以上	1,722	2,134	2,577	3,175	3,959
(%)	10.2	9.7	10.0	11.1	12.9
年齢不詳	0	0	4	0	5
(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

資料：国勢調査

産業者別就業者人口の推移

(単位：人)

区 分	昭 和 55 年	昭 和 60 年	平 成 2 年	平 成 7 年	平 成 12 年
就業者	8,429	10,997	13,215	15,042	16,451
(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
第1次産業	2,469	2,188	1,721	1,468	1,436
(%)	29.3	19.9	13.0	9.8	8.7
第2次産業	2,563	3,852	5,057	5,816	6,251
(%)	30.4	35.0	38.3	38.7	38.0
第3次産業	3,388	4,931	6,419	7,753	8,738
(%)	40.2	44.9	48.6	51.5	53.1
分類不能	9	26	18	5	26
(%)	0.1	0.2	0.1	0.0	0.2

資料：国勢調査